

4段位昇段ブロック講習会 安全注意義務確認書

《 当日持参 》

2015年2月 14-15日実施 : 南関東ブロック

提出先 : 主管 埼玉県武術太極拳連盟
提出方法: 講習会当日に会場に持参すること。

公益社団法人日本武術太極拳連盟 殿

私は、貴連盟が主催し、全国7ブロックのブロック太極拳指導員委員会が主管して開催する「4段位昇段ブロック講習会」に参加して実技研修を受けるにあたって、下記の「相對練習」参加心得と参加条件に同意し、安全管理に関して、下記の事項に同意することを確認します。

1. ブロック講習会における「相對練習」の実技研修中は、自分自身の安全にたいする注意義務を負うこと、また、研修相手に対しても、怪我を負わせないように、十分に安全に注意する義務があることに同意します。
2. 運動の性質上、十分に注意を払っても、練習中に転倒することなどもあり得ることを理解します。万一、転倒等の事故が発生し、私自身または練習相手が負傷を負い、あるいは後遺障害が発生した場合は、私自身の自己責任および当該の練習相手との共同責任において、事後処理に対処します。

_____年 ____月 ____日

住所: 〒 _____	電話番号: _____
	所属団体名: _____
氏名: _____ (印)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; margin-right: 5px;">男女</div> <div>生年月日: 19 _____ 年 ____ 月 ____ 日</div> </div>

「相對練習」参加心得と参加条件:

1. 「相對練習」の練習方法:

24式太極拳の「攬雀尾」の4つの動作(棚、掙、擠、按)を相手と相對して練習し、聴勁と運動を習得します。練習の基本的な方法は;

① 身体各部をゆるめて、つなぎ、足裏からの勁力を相手につたえる、② 掛け手は、腕力を用いて行わず、全身各部をゆるめて協調させ、柔らかく、軽く勁力を相手に伝える。受け手の年齢、経験を考慮にいれて、勁力のつたえ方、速度、強度を加減し、調節する。③ 受け手は、相手の勁力を聴きとり、足裏からの弾力のある反作用を用いて後ろに退る。④ 「鬆=ゆるめ」、「柔=柔らかく」、「軽く」、を主たる方法とし、性別、年齢を問わず誰でもが、安全に、太極拳の勁力と方法を求める練習を行います。

2. 「武徳」:

お互いの安全に注意を払い、お互いが楽しみながら向上するために、社会人としての良識と、太極拳を学ぶ者としての「武徳」を備えた人に限ります。

3. 参加条件:

「安全注意義務確認書」;参加者は、ブロック講習会で行なう「相對練習」のための「安全注意義務確認書」に署名・捺印したものを提出していただきます。日本連盟とブロックは、主催・主管者として会場の安全管理に責任を有しますが、練習中の万一の事故に対しては、指導監督上の注意義務を負うことができない場合があります。参加者自身が、自分と練習相手にたいする安全注意義務を負っていただくことが何よりも必要です。これに同意し、確認する書面に署名していただきます。この書面の提出がない人は参加できません。

なお、主催者の公益社団法人日本武術太極拳連盟は、参加者全員にたいする「傷害保険」に加入して、万全を期します。 以上